

## 岳岱自然観察教育林、田苗代湿原、桧原沢林道巡視

◎6月17日(火曜日)天気(晴)

### 第一班

岳岱自然観察教育林(以降岳岱)及び桧原沢林道へのセンサーカメラ設置と、岳岱にある施設の点検を行いました。

はじめに桧原沢林道にセンサーカメラを設置し、次にくるみ台森林スポーツ林から徒歩で岳岱に向かいました。岳岱は昨年の豪雨によるアクセス道の災害以降使用されていなかったためか、歩道上に落ち葉が堆積して歩いていくなくなっていました。

到着早々、センサーカメラを設置し、昼食後岳岱にある施設の点検を行い作業を終了しました。



センサーカメラ(桧原沢林道)



センサーカメラ(岳岱)



モリアオガエルの池には今年も卵塊がありました。



400年ブナ、雪による枝折れ等は見られませんでした。



遊歩道に落ち葉が堆積していました。



## 第二班

田苗代湿原のモニタリング調査を行いました。

この調査は、田苗代湿原において、植生の変化について地元関係団体より意見があったため、定期的に定点観察を行い、侵入植生が在来植生に与える影響を把握するためのものです。

くるみ台森林スポーツ林から徒歩で黒石沢登山口に向かい、およそ2時間かかって到着しました。

昼食後、田苗代湿原に向かい定点観察を行いました。湿原の様子は花の時期にはまだ早いようで、ニッコウキスゲ、ミツガシワ、ショウジョウバカマがいくつか咲かせている程度でした。



咲き始めのニッコウキスゲ



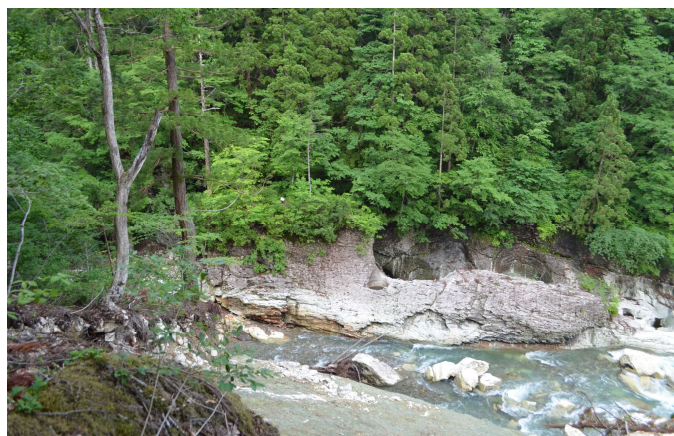
湿原の木道に異常はありませんでした。

センターに帰る途中、太良峡風景林にも立ち寄り、昨年の豪雨災害による被害状況を確認しました。

入り口からすぐの藤琴川沿いにある遊歩道は斜面が崩落し、完全に寸断されていました。また、藤琴川の流れが変わり、おう穴を流れていた水が完全に止まっていました。



太良峡の崩壊地



藤琴川の流れが変わっていました。